

人と村の健やかな未来のために

平成20年度予算について

上野村長 松元 宇隆

平成19年度からは税源委
議が始まりましたが、上野
村のような小規模な農山村
の自治体では移譲される基
本の税源が無く、大変厳し
い財政事情に陥っております。

国においては、今年度都
市と地方の地域間格差を是
正するため地方再生対策費
を創設しましたが、これは
普通交付税の算定を通して
財政状況の厳しい地域に重
点的に配分するようです。
現在、上野村は普通交付税
の不交付団体であり、これ
らの対策財源を利用するこ
とはできない見込みです。
しかしながら上野村では、
今のところ神流川発電所の
固定資産税を見込むことが
でき、他の自治体よりは若
干であります。財政状況は
健全な状況です。

今後対応しなければならな
い「うえのテレビのデジタ
ル化対応事業」や産業振興・
後継者定住等の施策には相
当額の財源が必要になっ
てくると予想されます。ま
た、固定資産税収入も年々
減少するため10年後には相
当厳しい財政状況になるも
のと予想されます。

今後は今まで以上に事業
内容をよく検討し重要なと
ころにはしっかりと予算付け
をするともに、必要ない
ところには予算をかけない
といった質素節約を基本と
した財政運営を目指したい
と考えております。上野村
の福祉、産業の新たな基礎
を築き上げ、上野村の次世
代・未来のために今やれる
ことを考え進めていきたい
と思っております。

去る3月の定例議会にお
きまして平成20年度当初予
算も可決されました。村民
の皆様には諸般の事情をご
理解いただき、村政に対しま
して一層のご協力をいた
だきたくお願い申し上げます。

平成20年度 一般会計予算概要〈歳入〉

(単位:千円)

科 目	当初予算額	前年度当初予算額	対前年度比較増減額
村税	* 2,437,397	2,657,877	△ 220,480
地方譲与税	* 43,585	44,208	△ 623
利子割交付金	* 576	412	164
配当割交付金	* 290	280	10
株式等譲渡所得割交付金	* 200	120	80
地方消費税交付金	* 10,746	15,112	△ 4,366
自動車取得税交付金	* 22,805	30,348	△ 7,543
地方特例交付金	* 743	959	△ 216
地方交付税	* 2	2	0
交通安全対策特別交付金	* 766	793	△ 27
分担金及び負担金	2,199	5,909	△ 3,710
使用料及び手数料	29,381	26,537	2,844
国庫支出金	363,687	60,839	302,848
県支出金	80,415	114,123	△ 33,708
財産収入	207,104	153,438	53,666
寄附金	1	2	△ 1
繰入金	17,849	288,937	△ 271,088
繰越金	* 17,074	10,000	7,074
諸収入	56,879	58,103	△ 1,224
村債	674,301	632,001	42,300
歳入合計	3,966,000	4,100,000	△ 134,000
一般財源計	2,534,184	2,760,111	△ 225,927

注) 係数未整理につき変動のある見込み

注) *は一般財源

平成20年度

上野村予算編成方針

平成20年度も神流川発電所の固定資産税償却資産分が見込め、大変財源豊富な予算編成となるような風潮があるが、今年度よりここ数年で実行しなければならない小学校や老人福祉施設建設またうへのテレビの地上波デジタルへの対応事業等大型事業が目白押しであるので、以前にも増して質素節約を常とした予算編成とし、今後10年後くらいに予想される村の厳しい状況に財源を留保し備えていきたい。

しかしながら、真に村の自立を促す事業には、重点的な財源配分をするが、先送りしても支障のない事業については予算要求は控えてもらいたい。

今後も交付税改革や税源移譲、全国的な財政力の低下、新法における市町村合併等困難な小規模町村の問題が未決着な状況で当村の財政状況はさらに厳しくなるものと見込まれ、上野村の平成20年度当初予算を編成することには若干の不安を伴うが、村長は国県の施策展開の状況や様々な制度改革等の動向を察しながら、基金の状況と今後も見込まれる財源を良く考え理解し、不要不急のハード事業は極力抑制し、村民サービスは極力低下させないことを原則として、平成20年度予算を編成する。

- 一、 予算要求する者は、その予算が今絶対に必要か否かを十分に考えた上で、要求するよう従来以上に考える。
- 二、 国・県の補助と有利な起債を積極的に要領よく活用し、過疎指定解除に備えていく。
- 三、 青少年の健全育成に対する施策は強化したい。
- 四、 村民からの要望は、慎重に判断し村の振興と合わせ考慮して決定し、村民からの応分の負担も今後は求めていく。
- 五、 各区の自立自存を促す。
- 六、 産業振興のために現在実行している就業所得の場となる事業は早く育成安定化させ、今後は職種を増やすような施策も展開していく。
- 七、 上野振興公社を充実させ、村と連携し観光振興施策を強化したい。
- 八、 少子高齢化施策や後継者定住・Uターン等の人口増に対する施策は強化したい。
- 九、 行財政の改革は、従来より実施をしてきているが今後も行政改革大綱や集中改革プランに沿って厳しく進めていきたい。
- 十、 財源が恰も豊富であるような、村外・村民の風潮があるので、国県の行財政改革の等で財源が乏しくなることを村民等にも意識してもらえよう、全般を通じて緊縮財政を意識した予算案としたい。
- 十一、 消耗品及び原材料等の諸材料は、地域経済への波及効果創出のため、地元業者より購入の努力をする。

平成20年度 一般会計予算概要〈歳出〉

(単位:千円)

款	本年度 予算額	財 源 内 訳					前年度 当初予算額	前年度 一般財源	当初予算 増減額	一般財源 増減額
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源				
議会費	33,342	0	0	0	0	33,342	32,956	32,956	386	386
総務費	1,115,127	14,920	1,477	44,900	36,980	1,016,850	1,765,169	1,432,638	△ 650,042	△ 415,788
民生費	674,582	247,565	19,165	155,000	23,814	229,083	650,345	206,396	24,237	22,642
衛生費	157,289	2,600	1,763	12,000	2,591	138,335	145,409	137,297	11,880	1,038
労働費	1	0	0	0	0	1	1	1	0	0
農林水産業費	639,759	0	57,762	148,200	215,545	218,252	506,592	210,264	133,167	7,988
商工費	35,246	0	242	13,000	2,901	19,103	61,135	18,820	△ 25,889	283
土木費	139,159	0	0	69,000	15,010	55,149	108,518	48,551	30,641	6,598
消防費	88,479	0	0	4,900	1	83,578	88,888	88,878	△ 409	△ 5,300
教育費	552,209	98,600	6	229,100	8,153	216,350	183,664	129,599	368,545	86,751
災害復旧費	684	2	0	0	0	682	679	679	5	3
公債費	519,823	0	0	0	1	519,822	546,642	546,641	△ 26,819	△ 26,819
諸支出金	300	0	0	0	299	1	2	1	298	0
予備費	10,000	0	0	0	0	10,000	10,000	10,000	0	0
合 計	3,966,000	363,687	80,415	676,100	305,295	2,540,503	4,100,000	2,862,721	△ 134,000	△ 322,218